

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	オス小田原	階数	地上10F
建設地	小田原市本町2丁目3番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	110人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年4月 予定	評価の実施日	2013年2月12日
敷地面積	734㎡	作成者	イクス・アーク都市設計
建築面積	478㎡	確認日	2013年2月12日
延床面積	4,258㎡	確認者	イクス・アーク都市設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

建設 修繕・更新・解体 運用 オフサイト オフサイト

参照値: 100%

建築物の取組み: 95%

上記+ 以外の: 95%

上記+: 95%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境 (敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	住戸バルコニーを道路面に配置し、地域に向けた建物構成となっている。シンボルツリーを計画、また生垣等により、接道面を緑化するなど、道路側への配慮を行っている。	その他 建設工事における廃棄物削減・リサイクルを行っている。
Q1 室内環境	住戸サッシはT-1を使用 L L45相当レベル4のフローリングを使用	Q3 室外環境 (敷地内) 緑化指数: 20.85 管理が容易な植物を選定。建物の影になる部分には陰樹を植える等、建物・植栽条件に適した緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー	自動点滅制御と人感センサーによる照明の効率化を図っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率95% 参照値同等
Q2 サービス性能	各住戸ごとに100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能	
LR2 資源・マテリアル	非構造材料にリサイクル材を使用している。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される